

報道機関各位

一般財団法人 とうほう地域総合研究所
理事長 阿部 隆彦

「平成 28 年夏季ボーナス及び暮らし向き」アンケート調査の結果について

当研究所では、毎年「夏季ボーナス及び暮らし向き」アンケート調査（5月調査、6月発表）を実施しています。この度、平成 28 年夏季の調査結果を取りまとめましたのでお知らせいたします。

なお、詳細は当研究所機関誌「福島の進路」7月号(6月28日発行)に掲載するとともに当研究所ホームページでも公表する予定です。

1. 平成 28 年夏季ボーナスアンケート調査結果

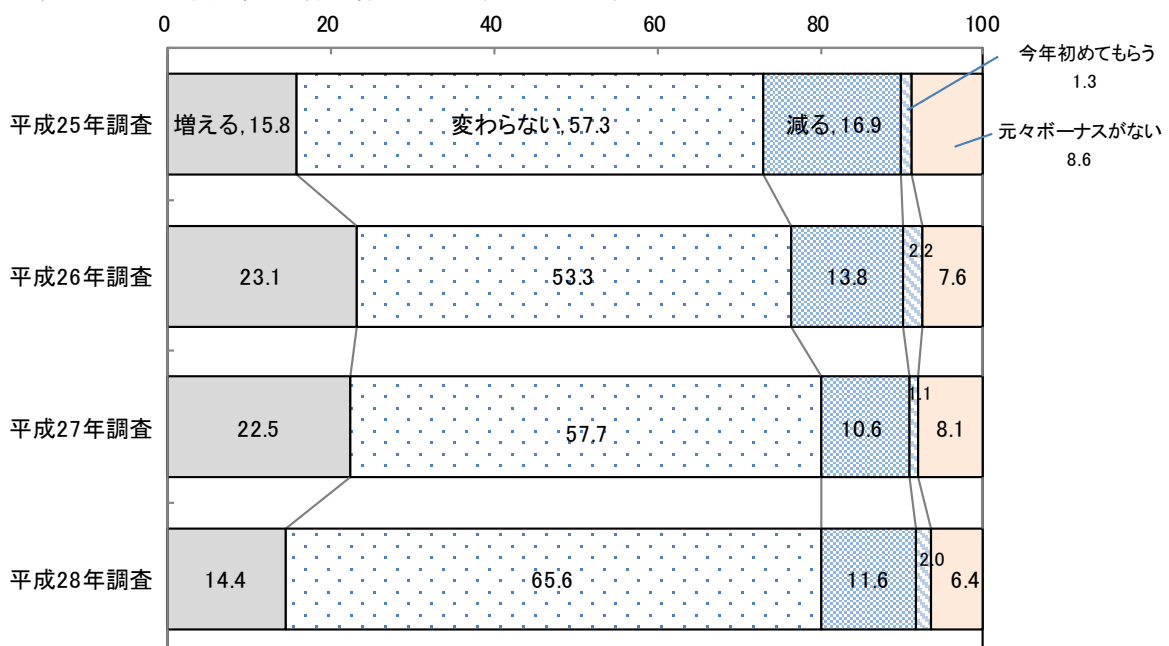
(1) 受取見込額の増減について

「増える」とする割合は、平成 26 年、平成 27 年と 2 年続けて 20% を超えていたものの、平成 28 年は 14.4% と平成 25 年の水準程度まで低下した。

◇平成 28 年の受取見込額は「増える」が 14.4%（前年比△8.1 ㊦）、「変わらない」が 65.6%（同+7.9 ㊦）、「減る」が 11.6%（同+1.0 ㊦）となった。「増える」は、平成 25 年の 15.8% から上昇し、平成 26 年に 23.1%、平成 27 年に 22.5% と 2 年続けて 20% を超えていたものの、平成 28 年は平成 25 年の水準程度まで低下した（図表 1）。

図表 1 ボーナス受取見込額(全体:平成25年～平成28年)

(単位:%)



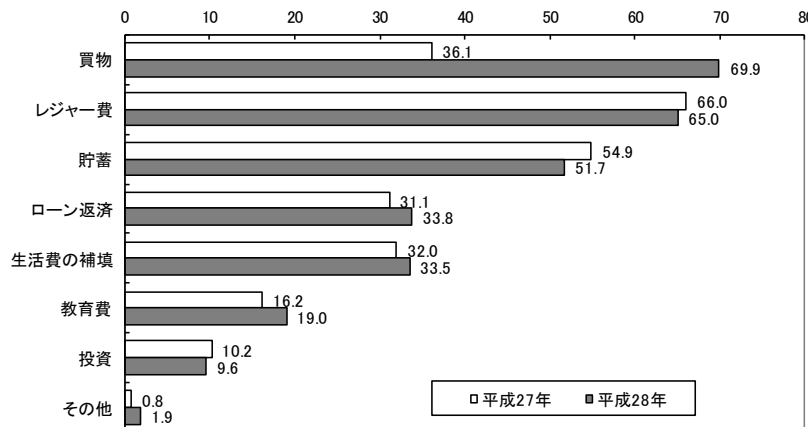
(2) ボーナスの使い道について

「買物」とする割合が大きく上昇しており、身の回り品や耐久消費財の購入などに対する前向きな姿勢がうかがえる。

◇ボーナスの使い道を見ると、「買物」が 69.9%（前年比+33.8 ㊦）と最も高い割合となった。次いで、「レジャー費」65.0%（同△1.0 ㊦）、「貯蓄」51.7%（同△3.2 ㊦）の順となった。「買物」の割合が大きく上昇している。身の回り品や耐久消費財の購入などに対する前向きな姿勢がうかがえる（図表 2）。

図表2 ボーナスの使い道（複数回答）

（単位：%）



(3) ボーナスの消費支出予定項目について

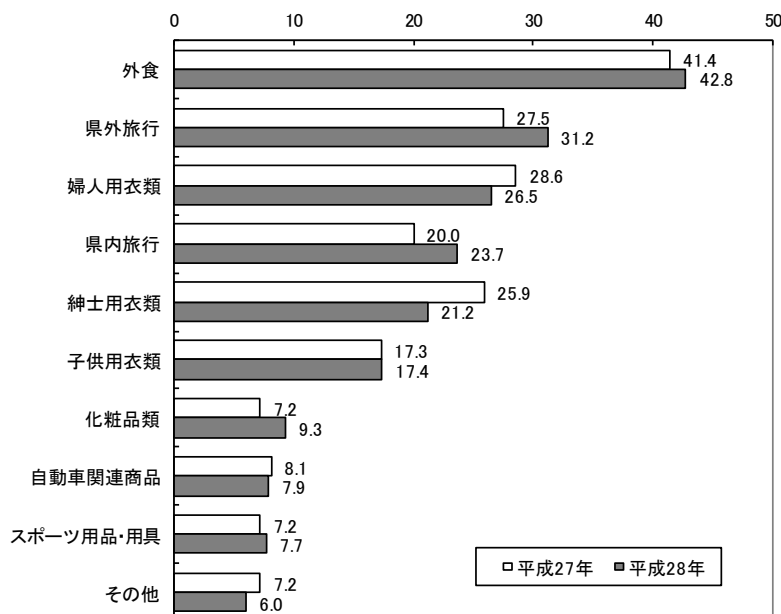
「外食」とする割合が最も高い。「県外旅行」「県内旅行」とする割合は前年比増加した。旅行先は、国内旅行への関心が高まっている。

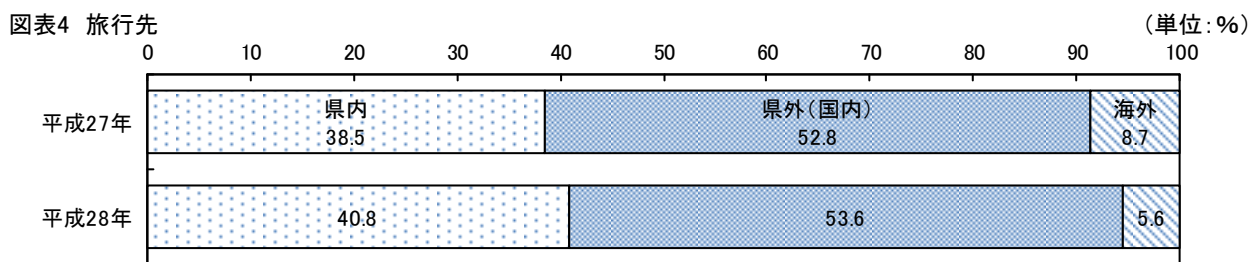
◇ボーナスの消費支出予定項目は、「外食」42.8%（前年比+1.4 ㊦）が最も高い。2位の「県外旅行」31.2%（同+3.7 ㊦）、4位の「県内旅行」23.7%（+3.7 ㊦）は双方とも前年比増加した（図表 3）。

◇「旅行」に出かけると回答した人の「旅行先」としては、「県外（国内）」が 53.6%（前年比+0.8 ㊦）と最も高く、次いで、「県内」40.8%（同+2.3 ㊦）、「海外」5.6%（同△3.1 ㊦）となった（図表 4）。

図表3 消費予定項目上位10（複数回答）

（単位：%）





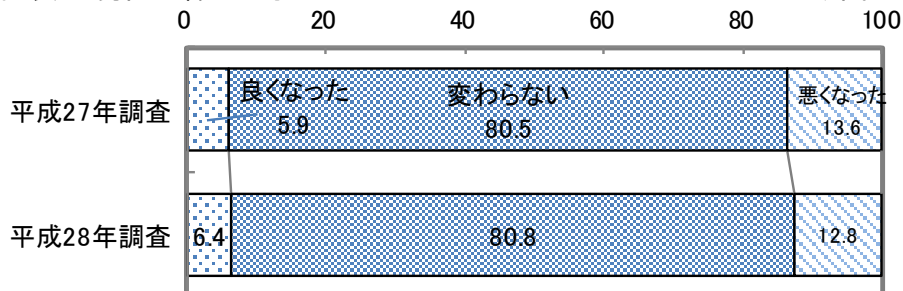
2. 暮らし向きアンケート調査結果

(1) 現在の暮らし向きについて

1年前と比べ「良くなった」「変わらない」とする割合が前年比上昇し、「悪くなった」とする割合が低下する動きが見られた。

◇現在の暮らし向きについては、暮らし向きが1年前と比べ「良くなった」6.4% (前年比+0.5 ㊦)、
「変わらない」80.8% (同+0.3 ㊦)、「悪くなった」12.8% (同△0.8 ㊦) となった (図表5)。

図表5 現在の暮らし向き (単位:%)

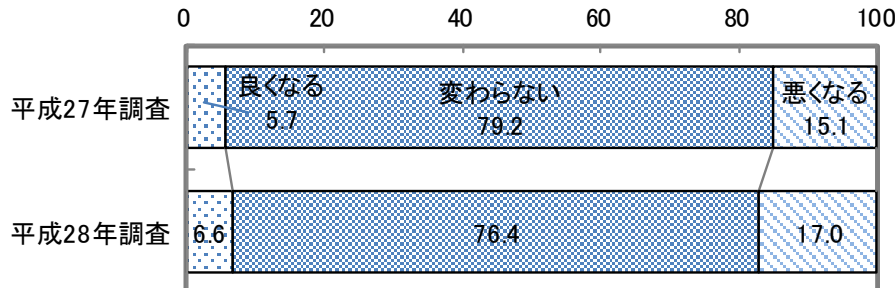


(2) 今後1年間の暮らし向きについて

「良くなる」「悪くなる」とする割合が上昇、「変わらない」とする割合が低下する動きが見られた。

◇今後1年間については、「良くなる」が6.6% (前年比+0.9 ㊦)、「変わらない」が76.4% (同△2.8 ㊦)、「悪くなる」が17.0% (同+1.9 ㊦) となった。(図表6)。

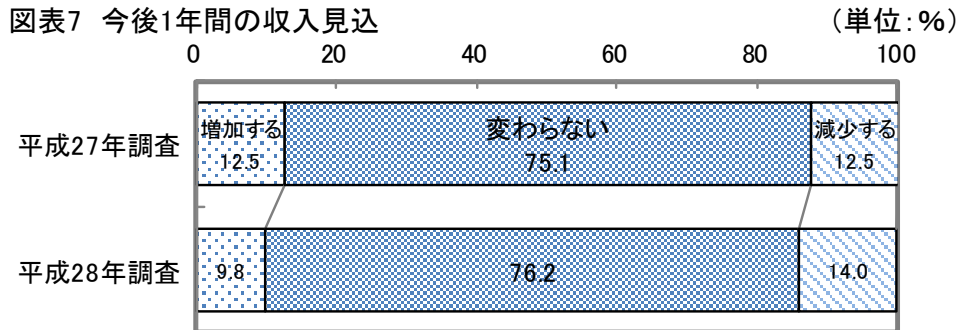
図表6 今後1年間の暮らし向き (単位:%)



(3) 今後1年間の収入見込みについて

「増加する」とする割合が低下、「変わらない」「減少する」とする割合が上昇した。

◇今後の収入見込みは、「増加する」が9.8%（前年比△2.7 ㊦）、「変わらない」が76.2%（同+1.1 ㊦）、「減少する」が14.0%（同+1.5 ㊦）となった（図表7）。



3. 「インターネットショッピング」に関する調査結果

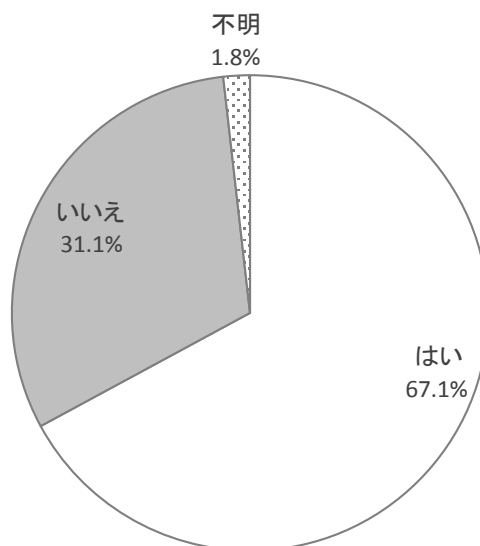
インターネットの普及拡大に伴い、インターネットショッピング（ネットショッピング）の利用が拡大しており、消費行動の変化として、地域経済でも無視できない存在となっている。そこで今回は、県民に対しネットショッピング利用状況および意識調査を行った。

(1) 「ネットショッピングの利用」について

最近1年間にネットショッピングを利用した人は全体の3分の2を超えた。

◇最近1年間でネットショッピングの利用があったか質問したところ、「はい」が67.1%、「いいえ」が31.1%、「不明」が1.8%であった。3分の2を超える人が利用していることがわかる（図表8）

図表8 ネットショッピングの利用(最近1年以内)



(2) 「ネットショッピングの利用頻度」「ネットショッピングで利用する金額」について (※ネットショッピングを利用する」と回答した人に質問)

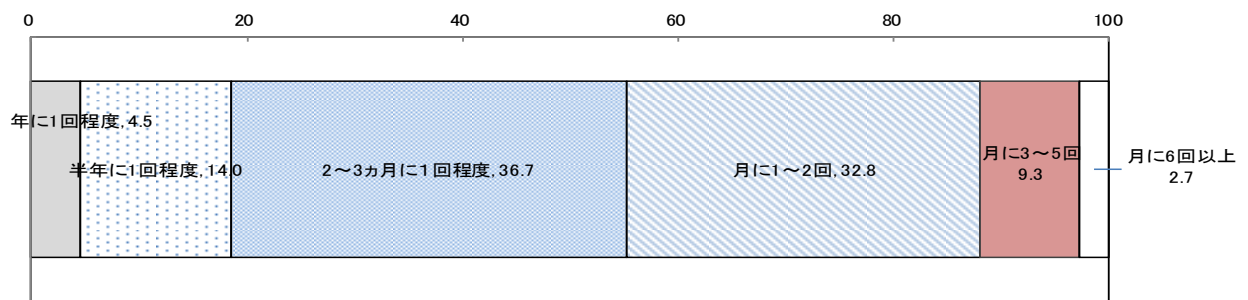
ネットショッピングの利用頻度は「2～3カ月に1回程度」、「月に1～2回」合計で全体の3分の2を占める。利用金額（1ヵ月当たり平均）は「5,000円以上10,000円未満」が、最も回答数が多かった。

◇ネットショッピングを利用する中心層は「2～3カ月に1回程度」36.7%と「月に1～2回」32.8%であり、全体の3分の2を占める。一方、月に3回以上利用する人は合計12.0%と1割を超えており、日常生活での利用が進んでいることがうかがえる (図表9)。

◇中心層は「5,000円以上10,000円未満」56.1%であり半数以上を占めた。次いで「10,000円以上20,000円未満」15.2%、「20,000円以上50,000円未満」12.5%と続き、比較的高額な商品・サービスの利用が多いことが見受けられる (図表10)。

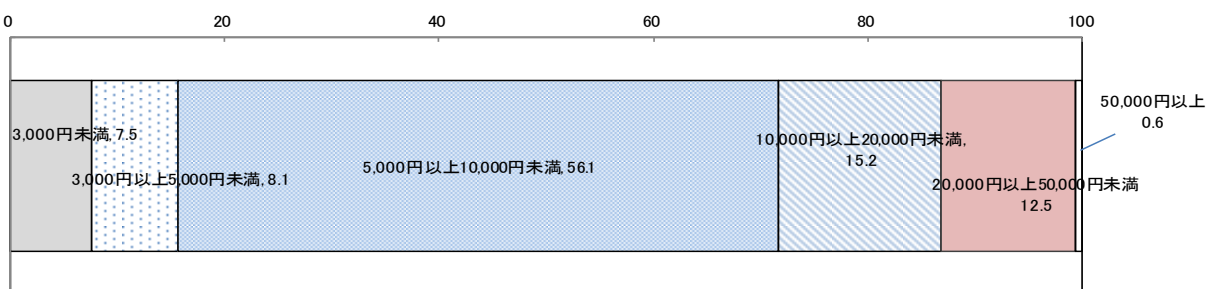
図表9 ネットショッピングの利用頻度

(単位:%)



図表10 ネットショッピングで利用する金額(1ヵ月当たり平均)

(単位:%)



<ご参考>

<アンケート調査要領>

(1) 調査場所及び対象者
福島県内の会社員・官公庁職員等 765人

(2) 調査実施期間 平成28年5月2日～5月17日

(3) 回答者 501人(回答率:65.5%)

① 回答者の性別 男性: 60.3% 女性: 39.7%

② 既婚・未婚別 既婚: 72.9% 未婚: 27.1%

③ 年齢別構成

年齢	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳以上	計
構成比	18.2%	20.6%	34.1%	27.1%	100.0%

(4) アンケート内容

① 今年の夏のボーナスについて

② 暮らし向きについて

③ ネットショッピングについて

本件に関する質問・お問い合わせ先
担当: 安藤 TEL024-523-3171